

企業紹介

地震に自信あり

～地震の揺れにも強い家づくりを求めて～



代表取締役 山口 龍二
本社 〒955-0035 三条市中新32-13
TEL(0256)38-4567 FAX(0256)38-8283
<http://www.tatsumi-web.com/>

業 種：建築用金属製品製造
資 本 金：4,000万円
事業内容：建築用金具、木材プレカット加工等

木造住宅用の建築金物を製造販売する(株)タツミ。地震に強い住宅が求められる中、同社の耐震性の高い建築金具「テックワン」は、関東を中心に全国に幅広いシェアを持つ。また、同社では、揺れを抑える「制振」技術の開発を進めるとともに、環境保全に向けた新たな取り組みにも力を入れていく。

「耐震性」を高める金具を模索する中で

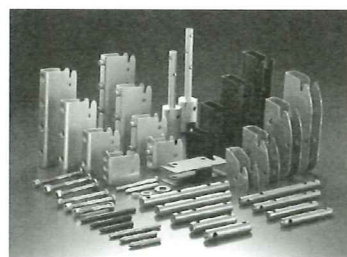
同社は1978年に、木造住宅の柱や梁を補強する金具メーカーとしてスタート。地震が多い日本において、地震の揺れに強い住宅が求められる中、同社は、従来の木造住宅の問題点を解消し、耐震性の高い「金具接合法」による住宅の必要性を認識し、建築金具「クレテック」の製造を開始。見附市内に工場を建設するとともに、金具接合法用の木材加工工場を設け、普及に努めてきた。そうした中で、1995年に阪神淡路大震災が発生。多くの木造住宅が倒壊する中、金具接合法の評価が全国的に高まり、同工法による木造住宅は急速に普及した。



▲同社の見附工場。その他、栃木県にも金属加工工場を持つ

耐震性、施工性に優れた「クレテック」「テックワン」

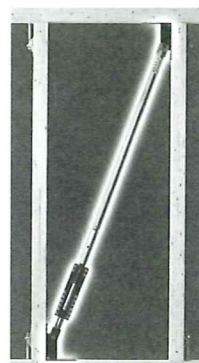
金具接合法の特徴は、木造住宅の柱と梁の接合部分を金具で補強すること。これまでの木造住宅は、この接合部分の木材を凹凸に加工しなければならず、加工部分が耐震面で弱く、改善の必要性があった。一方、「クレテック」は、木材にはボルト穴等を開けるだけなので、木材の強度を最大限に活かし、また、無駄な廃材や木くずの発生を抑えることができる。さらには、組立も簡素化されており、建築現場での作業効率のアップも図れる。2004年には従来の「クレテック」をスリム化し、耐震性を高めた「テックワン」も開発。一般住宅の他、診療所や保育園、公民館などにも利用されており、販売網も全国に広がっている。



▲建築金具「テックワン」シリーズ

制振および環境保全に向けた取り組みを開始

現在、同社では「耐震」を高める製品づくりとともに、地震の揺れを低減し、住宅の損傷を最小限に抑える「制振」製品の開発も進めている。2007年に開発した筋交い型の制振システム「GO-TA（ゴータ）」は、筋交いの代わりに製品を横架材と柱の間に斜めに組み込むことで、地震の揺れを吸収し、建物の変形を平均60%程度に低減させる効果がある。建物に地震の影響を与えない「免震」よりも、設置しやすくコストも安いことから、住宅ハウスメーカー等に販売を強化している。また一方では、輸入木材から国産木材を使った環境を配慮した製品づくりも視野に入れるなど、今後は環境保全に向けた取り組みにも力を入れていく。



▲地震の揺れを抑える制振システム「GO-TA」